

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年 2月 6日
NO.15

過去最高益！ ベースアップは確実？？？ リニアよりもまず社員に還元す べきではないでしょうか。

社員の皆さん。2月1日の総点呼で、西村所長は「24年度第3四半期決算報告として、運輸収入が大幅な増収で、売り上げ、経常、純利益は過去最高となりました。」と訓示しました。

その訓辞を聞いた社員は口々に、「過去最高益であれば社員に還元すべきではないか。今年の賃上げは期待している。」と実感するのも当然です。

会社は24年度第3四半期決算報告を明らかにしました。営業利益1兆1995億円、経常利益2945億円、純利益1827億円の増収・増益になりました。

ところで、2013年国民春闘白書が明らかにした資料では、上位20社企業で内部留保額を調査したところ、JR東海会社は、1兆9,327億円あることが明らかになりました。

内部留保額とは、企業のため込み利益と言われています。企業は、「土地、建物、機械などで取り崩すことは出来ない」「将来の投資や安定経営のために不可欠」と反論しますが、内部留保額の中には、現金化（貯金、受取手形など）しやすいものが含まれているといわれています。

社員の皆さん。電気料金をはじめとした公共料金値上げ。そして、本年は、JR健康保険料個人分の値上げ（月平均5%）がいられています。

過去最高益であれば、賃上げを実現させましょう。

順位	企業名	金額 (億円)
1	トヨタ自動車	141,684
2	本田技研工業	79,279
3	東京電力	52,815
4	NTTドコモ	49,511
5	キヤノン	44,390
6	日産自動車	42,175
7	三菱商事	37,845
8	パナソニック	33,013
9	三井物産	28,912
10	日立製作所	27,495
11	ソニー	26,249
12	関西電力	26,123
13	KDDI	23,823
14	武田薬品工業	23,816
15	日本たばこ産業	23,740
16	JR東日本	23,634
17	デンソー	22,994
18	JR東海	19,327
19	新日鐵	18,500
20	中部電力	18,307

2013年3月期（「2013年国民春闘白書」より）

連結内部留保の多い企業
(上位20社)

私たちは職場の声を訴えていきます！